



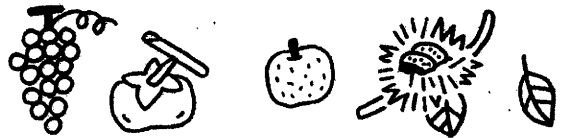
# 札幌市内の不思議な地名

## 円山は「モイワ」と呼ばれた

**中央区** 円山は、アイヌの人たちにとって、祖先の祭場のある聖なる地で、「モイワ＝小さな山」と呼ばれた。1871年(明治4年)に円山村が開村してから、「円山」に改称された。南区の藻岩山は、アイヌの人たちに「インカルシペ＝いつも眺めるところ」と呼ばれたが、円山改称によって「モイワ」がこちらに移った。

## 「福移小」と「福井野小」

**東区西区** 福移小中学校(東区)の「福」は旧福岡藩士が入植したことにならむ。後に、移住の「移」と組み合わせ、地名が「福移」となった。一方、福井野小(西区)の「福井」は福井県から入植したことにならむ。開校した1978年、同じ音の「福移小」が既にあったことから、混同されないように「野」を加えたといわれる。



## みかほ 美香保、元は「ミカオ」

**東区** 1928年(昭和3年)、この地区の地主だった宮村朔三、柏野忠八、大塚藤四郎がそれぞれ土地を提供し3人の名字の頭文字をとって「ミカオ公園」に。札幌市がその後、「美香保」と漢字を当てた。

## あい 藍栽培から「あいの里」

**北区** 1882年(明治15年)に入植した徳島出身の滝本五郎が翌年に藍の栽培を始めたことにならむ。明治後期に化学染料が台頭し、藍栽培は衰退した。同様に、中央区の桑園は、開拓使が桑畑を開設したことから、そう呼ばれるようになった。

[平成31年1月29日 北海道新聞社「さっぽろ10区」より一部抜粋]

### [備考欄]

- ①福移小学校は明治26年(1893年)開校。昭和60年(1985年)に小中併置校となる。福井野中学校は昭和58年(1983年)開校。
- ②藍(あい)は、畑に栽培する1年草。葉を発酵(はっこう)させて青色の染色をとった。  
[←新明解国語辞典より]。藍色(あいいろ)。ジャパン・ブルー。